

# かるがる

2017年 **5** 月 vol.260

**M** Kitakyushu Museum Week 2017  
平成29年  
5.6sat ▶ 5.21sun 16日間

## 北九州 ミュージアム ウィーク 2017

時間と空間を超えて  
いにしえの人々の偉業に出会う  
いのちの不思議に心ふるわす  
北九州市の15のミュージアムで  
感動を見つけよう！

- 北九州市立 いのちのたび博物館
- 北九州市立美術館 分館
- 北九州市漫画ミュージアム
- 北九州市立 長崎街道木屋瀬宿記念館
- 北九州市立文学館
- 北九州市立 松本清張記念館
- 北九州市立 埋蔵文化財センター
- ハロの街の映画・芸能資料館 松永文庫
- 森鷗外旧居
- 小倉城庭園
- 小倉城
- 北九州芸術劇場
- 到津の森公園
- 北九州市環境ミュージアム
- 出光美術館(門司)

### スタンプラリー 同時実施

抽選でステキな賞品が当たる!!  
北九州市のミュージアムを  
めぐってスタンプを  
集めて応募しよう!

☆詳しくは「北九州ミュージアムウィーク  
2017」専用パンフレット、市ホームページ、  
または、文化芸術メディアサイトCulCul・  
かるがるをご覧ください。

北九州市文化芸術メディアサイト  
CulCul・かるがる  
<http://www.kitakyushu-culcul.jp>



小倉北 **北九州芸術劇場**    

〒812-8555 小倉北区室町1-1-11リバーウォーク北九州6F ☎093(562)2655 開演によって異なります  
 小倉駅「西小倉駅」徒歩3分 室町「リバーウォーク」徒歩1分 開年未年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	平成29年度小倉北区・南区合同戦没者追悼式	7(日)	13:30 12:00開場	無料	小倉南区役所総務企画課広報広聴係 093(951)4111
	ハムレット 豪華精鋭、シェイクスピア劇の最高峰に挑む！出演：内野聖陽、國村隼ほか	13(土)	18:00	S席 ¥8500 ステージサイドシート ¥7500 A席 ¥6500 ユース(24歳以下) ¥4000 高校生(チケット) ¥1500	北九州芸術劇場 093(562)2655
		14(日)	13:00	※対象：小学生以上 ※前売終了、当日券あり	
	北九州交響楽団 第117回定期演奏会	21(日)	15:00 14:20開場	一般 ¥1300 学生(大学生以下) ¥800 ※当日各¥200増	北九州交響楽団事務局 (ディーキューブギャラリー内) 093(533)3456
	DRUM TAO 「ドラム ロック 疾風」	28(日)	17:00	SS席 ¥7700 S席 ¥6700 A席 ¥5700	株タオ・エンターテイメント 092(721)2015
29(月)		13:00	※対象：6歳以上		
中劇場	第55回北九州芸術祭 北九州子ども劇場5月高学年部例会 「オペラ銀のロバ」 (オペラシアターこんにゃく座)	6(土)	19:00	会費 ※対象：小学生以上 ※子ども劇場会員でない方はお問合せください	北九州子ども劇場 093(884)3834
		8(月)	18:30	会費 ※対象：小学生以上 ※北九州子ども劇場会員でない方はお問合せください	北九州市民劇場 093(541)0075
	9(火)~11(木)	13:30			
	12(金)	18:30			
	13(土)~14(日)	13:30			
	15(月)	12:30			
なおみ&ふじおクリニック「歓びの波動」コンサート	20(土)	15:00	¥1000 ※対象：小学生以上 ※熊本地震チャリティー	なおみ&ふじおクリニック 093(653)4658	
第55回北九州芸術祭参加 「東京タワー オカンとボクと、時々、オトン」 リリー・フランキー 原作 橋本和子 作	27(土)	13:30 18:30	一般 ¥3000 学生(小~大学生) ¥2000	劇団青春座 井生(いおう)定巳 093(922)4995	
	28(日)	13:30	※未就学児親子室あり(無料・要予約・3組)		
小劇場	高校演劇春フェス17 (高文連演劇部門芸術劇場講習会)	5(金)祝	13:30 13:15開場	無料 ※一般の方はお問合せください	高文連演劇部門 090(8417)6249[小原(こはら)]
		6(土)	13:15 13:00開場		
	第55回北九州芸術祭 ともえクラブ発表会	7(日)	12:00 11:50開場	無料	ともえクラブ 奥智江 093(931)5641
	北九州子ども劇場5月乳低合同例会 「ねずみくんのチョコッキ」(人形劇団ブーク)	14(日)	11:30 15:00	会費 ※子ども劇場会員でない方はお問合せください	北九州子ども劇場 093(884)3834
	シャンテ・アミ うたの祭典2017	21(日)	14:00	¥1000	シャンテ・アミ実行委員会 090(7988)8661[あきもと]
音楽の広場PAM 第115回コンサート	28(日)	14:00	会員 ¥500 一般 ¥1000	岩崎博信 090(9605)3881	

小倉北 **北九州芸術劇場 市民ギャラリー** 

〒812-8555 小倉北区室町1-1-11リバーウォーク北九州5F ☎093(562)2520  
 開10:00~19:00※催し初日は準備が終わり次第開場、最終日は17:00まで  
 小倉駅「小倉駅」徒歩10分 西小倉駅「西小倉駅」徒歩3分 開年未年始

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
MONOIROアートクラブ グループ展2017 絵画・その他	3(水)祝~9(火)	無料	MONOIROアートクラブ 080(1750)2680
人物を描く会 絵画	10(水)~16(火) 10:00~18:00	無料	人物を描く会 090(3665)6351
平成29年度 花映会写真展 写真	17(水)~23(火)	無料	花映会 080(1736)3471
第1回 早鞆の会 絵画	24(水)~30(火)	無料	早鞆の会 093(471)8286
第11回 書道研究秋琴会書作展 書道	5/31(水)~6/6(火) 10:00~18:00	無料	書道研究秋琴会 080(1781)4359

八幡東 **北九州市立響ホール** 

〒812-8555 小倉東区平野1-1-1 ☎093(662)4010 小倉駅「八幡駅」徒歩15分 八幡駅入口第一「徒歩10分」  
 国際村交流センター「徒歩3分」 開年未年始、隔月1回(不定休) P240台(有料)

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
宮武きみえ室内楽シリーズ Vol.24 モラゲス木管五重奏団を迎えて ドヴォルザーク：ピアノ五重奏曲 op.81 ほか	7(日)	15:00	一般 ¥3500 学生(小~大学生) ¥2000 ※対象：5歳以上 ※当日各¥500増 ※全席自由	KMFカンマームジーク 093(871)2220[宮武]
九州交響楽団 第62回 北九州定期演奏会 ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲集「四季」 ほか	13(土)	15:00	一般 ¥3700 学生(小~大学生) ¥1100 会員割引 ¥3000 ※対象：小学生以上 ※全席自由	(公財)九州交響楽団 九響チケットサービス 092(823)0101
第2回ヤマハジュニア ピアノコンクール エリアファイナル	21(日)	未定	無料 ※全席自由	ヤマハ音楽振興会 092(832)8050[山副]
響ホールワンコインコンサート 山宮るり子(ハープ) スメタナ(トウルネチェク編)：モルダウ ほか	24(水)	11:45	一般 ¥500 ※対象：小学生以上 ※全席指定	響ホール 音楽事業課 093(663)6661
第85回 日本音楽コンクール受賞記念演奏会 in 北九州 森山まひる(ヴァイオリン) 樋口一朗(ピアノ) 村元彩夏(ソプラノ)	28(日)	15:00	一般 ¥2000 25歳以下 ¥1000 (要証明) ※対象：小学生以上 ※全席指定	

**門司 出光美術館(門司)**    所門司区東港町2-3 ☎093(332)0251 時10:00~17:00(入館は閉館30分前まで)  
 門司港駅 徒歩8分 門司IC 約10分 休月曜日(ただし月曜日が祝日および振替休日の場合は開館)、展示替期間、年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
古伊万里の世界 ヨーロッパの王侯貴族を魅了した色絵磁器「古伊万里」など、華麗で豊潤な九州陶磁を紹介 		4/7(金)~6/11(日)		一般 ¥700 高・大学生 ¥500 ※中学生以下無料(保護者同伴)	出光美術館(門司) 093(332)0251
	列品解説	14(日) 28(日)	①11:00 ②14:00	無料 入場料が必要	

**門司 関門海峡ミュージアム(海峡ドラマシップ)**    所門司区西海岸1-3-3 ☎093(331)6700 時9:00~17:00  
 門司港駅 徒歩5分 困年5回

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
レトロ通り	バナナのたたき売り	7(日)	13:00 15:00	無料	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151
モリス	海峡ドラマチックライブ 天候の都合で中止や場所、時間を変更する場合がございます	21(日)	12:00 14:00	無料	
多目的ホール	春の企画展「しあわせのリカちゃん展」 ご当地リカちゃん「ドラマシップ号キャプテン(船長)リカちゃん」を展示	3/18(土)~5/7(日)		大人 ¥300 小人 ¥100 ※展示ゾーン有料入場者は、当日に限り無料	
	海峡寄席	14(日)	14:00~ 15:30	無料	
モリス	夢とロマンの帆船模型展 5/21(日)、6/4(日)帆船模型作り教室開催(要事前予約)	5/13(土)~6/11(日)		無料	

**門司 旧門司税関**  所門司区東港町1-24 ☎093(321)4151 時9:00~17:00  
 門司港駅 徒歩3分 困なし

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
1~2階	「ジュディ・オング情玉 木版画の世界展」	4/21(金)~5/21(日)	大人 ¥600 小中学生 ¥200	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151
2階	第55回北九州芸術祭 「糸で繋がるアート展」	26(金)~28(日)	無料	

**門司 旧門司三井倶楽部**  所門司区港町7-1 ☎093(321)4151 時9:00~17:00  
 門司港駅 徒歩1分 困なし

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
1階	フラワーコンサート “花を愛でながら音楽を楽しむ”をテーマに開催いたします。	14(日)	13:30 15:30	¥500 ※要事前申込	門司港レトロ総合インフォメーション 093(321)4151

**門司 門司港レトロ展望室**  所門司区東港町1-32 ☎093(321)4151 時10:00~22:00(カフェは20:30まで) 入館は閉館30分前まで  
 門司港駅 徒歩5分 困年4回

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
	天空ジャズ 出演:近藤タケユキ・岡田渉子 	13(土)	18:30 19:30	門司港レトロ展望室入館料必要 大人 ¥300 小人 ¥150	門司港レトロ総合インフォメーション 093(321)4151

**門司 門司市民会館**   所門司区老松町3-2 ☎093(321)2907 時9:00~22:00  
 門司港駅 徒歩13分 関門トンネル車道IC 徒歩2分 「レトロ東本町1丁目」徒歩3分 困年未年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	門司みなと祭カラオケ大会	21(日)	9:20	¥600 (前売・当日共)	門司みなと祭協賛会 093(321)2381【藤原】
	平成29年度 第47回 北九州市ファミリー劇場 —角笛シルエット劇場— 「ごんぎつね」「つのぶえのうた」 かわいい影絵に子どもは夢中! お話を観た後は元気いっぱい歌を歌おう♪	30(火)	10:30	大人 ¥1100 子ども(3歳~中学生) ¥900 親子 ¥1700 ※当日各¥300増 ※2歳以下観覧無料	北九州芸術劇場 093(562)2655

**門司 旧大連航路上屋**    所門司区西海岸1-3-5 ☎093(322)5020 時9:00~17:00  
 門司港駅 徒歩5分 困年4回

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
2階多目的ホール	ゴールドデンウィークスペシャルライブ 3(水)祝: GOLD POPS 4(木)祝: GOLD BRASS(門司学園吹奏楽部) 5(金)祝: GOLD JAZZ 	3(水)祝 4(木)祝 5(金)祝	14:00~16:00 14:30~16:30 14:00~16:00	無料	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151
	第55回北九州芸術祭 芸術祭ダンスパーティー	7(日)	12:30~ 16:00	料金はお問い合わせください	北九州ダンス協会 090(6631)6528【山口】
	マンスリーシアター 上映作品:「花と竜」 1962年日活 監督:舛田利雄 主演:石原裕次郎	28(日)	14:00~ 16:00	無料	門司港レトロ総合インフォメーション 093(321)4151

**門司 松永文庫**   所門司区西海岸1-3-5(旧大連航路上屋1F) ☎093(331)8013 時9:00~17:00  
 門司港駅 徒歩5分 困年4回

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
	松永文庫企画展「スポーツ映画資料展」	4/9(日)~7/19(水)	無料	松永文庫 093(331)8013

門司 門司港美術工芸研究所  

門司区東港町6-72 港ハウス2F ☎093(322)1235 開10:00~17:00  
 門司港駅 徒歩5分 休月曜日(祝日の場合は開館)、年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
門司港美術工芸研究所 2階ハウス	アートフェスタ 屋外オブジェのほか、館内に作品約50点展示。ワークショップも開催。	3水祝~7日	10:00	無料	門司港美術工芸研究所 093(322)1235
			17:00		
			13:00		
	絵画講座「絵画はじめ」【受講生募集】 講師:同所研究員 田中尚美 初歩的なデッサンや水彩の技法を学びます。	5/20土~ H30.2/17土	13:00	受講料(全10回) ¥20000 材料費実費 ※要事前申込、4/18(火)から電話受付中 ※毎月第3土曜日に開催	
16:00					

小倉北 アルモニーサンク北九州ソレイユホール  

小倉北区内大手町12-3 ☎093(592)5405 公演によって異なります  
 小倉駅 徒歩30分 西小倉駅 徒歩15分 小倉ソレイユホール・ムーブ前 徒歩1分  
 休年末年始、毎月1回(不定休) 80台(有料)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	ももいろクローバー Z ジャパンツアー「青春」	4水祝	17:00	全席指定 ¥6800	キョードー西日本 092(714)0159
	北九州市民文化大学 文化講演会 講師:作詞家・精神科医 きたやまおさむ氏	21日	13:30	会員制 (随時募集)	北九州市民文化大学 093(522)5008
	前川清ショー	25水	13:00	S席 ¥6000 ※全席指定	ソワード㈱ 0956(22)2036

小倉北 到津の森公園  

小倉北区内上到津4-1-8 ☎093(651)1895 開9:00~17:00 ※5/3~5は19:00まで  
 到津の森公園前 徒歩1分

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
	到津の森公園開園15周年記念特別企画展 「地球はどうぶつでいっぱい」~あべ弘士絵本原画展~	開催中~5/31水		無料 入園料が必要	到津の森公園 093(651)1895

小倉北 北九州市漫画ミュージアム  

小倉北区内浅野2-14-5(あるあるCity5F・6F) ☎093(512)5077 開11:00~19:00(入館は閉館の30分前まで)  
 小倉駅 徒歩2分 休火曜日(祝日の場合は翌日休館ただし5/2は開館)、年末年始

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
企画展示室	シン・えびすリアリズム~蛭子さんの展覧会 漫画家「蛭子能収」のポップでシュールな作品原画やイラストパネルなどを展示。 	3/18土~5/21日		一般 ¥500 中学生 ¥300 小学生 ¥200 [常設展セット券] 一般 ¥700 中学生 ¥400 小学生 ¥250 ※小学生未満無料	北九州市漫画ミュージアム 093(512)5077
	蛭子さんの似顔絵サイン会		5金祝	13:00~16:00 (終了予定)	
ミニギャラリー 常設展示室	北九州漫画家列伝 外伝①「大牟田市編」 本市近郊出身の漫画家について出版資料等で紹介。 	1/28土~5/12金		無料 常設展入場料が必要	
	あしたのギャラリー vol.26「北九州魅力本」展 北九州の魅力漫画で紹介する「北九州魅力本」の原画等を展示。 		4/15土~6/16金	無料 常設展入場料が必要	
	海峡マンガ合戦~中国ブロック 遠野かず美~ 日本漫画家協会九州ブロックと中国ブロックに所属する作家のミニ個展シリーズ。 		4/29土祝~6/30金	無料 常設展入場料が必要	
	北九州漫画家列伝 佐藤友生 TVドラマ「トモダチゲーム」が話題の漫画家・佐藤友生を紹介。 		5/13土~7/14金	無料 常設展入場料が必要	
イベントコーナー 常設展示室	漫画体験 漫画の模写や塗り絵、ペンの使い方など、初心者でも参加できます。 	14日 27土	13:30~ 16:30	無料 常設展入場料が必要 ※当日先着20名、途中からの参加も可能	
	漫画スクール テーマ①「プロ漫画家の道具を使ってみよう」 ②「ゆるキャラやモンスターの作り方」 		①7日 ②21日	13:00~ 16:00	

小倉北 北九州市立小倉城庭園  

小倉北区内城内1-2 ☎093(582)2747 開9:00~18:00(4月~10月)入館は閉館の30分前まで  
 小倉駅 徒歩15分、「西小倉駅」徒歩10分 休なし

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
展示室 和室	VIVID銘仙 ~20世紀前半のファッションブル着物~ 	開催中~6/18日		一般 ¥300 中学生 ¥150 小学生 ¥100	北九州市立小倉城庭園 093(582)2747
	こども茶会 茶道を習っている小学生から高校生までの受講生がおもてなしする茶会です。		5金祝	10:00	
書院棟	春のJAZZナイト ライトアップされた日本庭園を眺めながらジャズを鑑賞。	13土	18:00	¥1500 (呈茶付・入館料込)	

小倉北 北九州市立子ども文化会館(併設到津市民センター) 

小倉北区内下到津4-3-2 ☎093(592)4152 開9:00~17:00  
 小倉北特別支援学校 徒歩1分、「下到津」徒歩5分 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始 20台

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
図書室	ビデオの一む 「なかよし鯉のぼり」「鉄腕アトム -誕生編- 上巻」	14日	14:00	無料	北九州市立子ども文化会館 093(592)4152
	おはなしワールド 絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊びなど		27土	14:00	

小倉北 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 

小倉北区内大手町11-4 ☎093(583)3939 開9:30~21:30 小倉駅 徒歩15分  
 ソレイユホール・ムーブ前 徒歩1分 休所内整理日(毎月最終木曜日及び年4回の第2木曜日)、年末年始 20台(有料)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
ホール	スプリングコンサート ピアノ発表会	14日	13:00	無料	Kaneko Music Academy 093(231)1145

**小倉北 北九州市立視聴覚センター**   所小倉北区内城4-1 画093(561)3131 画9:30~18:00  
 画「西小倉駅」徒歩10分 画「勝山公園」徒歩1分、「北九州市役所」徒歩5分 画月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
スタジオ	<b>クラシック・レコードコンサート</b> ブームス作曲 交響曲 第2番 ほか	21(日)	14:00	無料 (先着50名)	北九州市立視聴覚センター 093(561)3131
	<b>週末映画会 邦画「刑事」(1995年)</b> 出演:高倉健 ほか	27(土)	14:00	無料 (先着50名)	

**小倉北 北九州市立美術館分館**   所小倉北区室町1-1-1リバーウォーク北九州5F 画093(562)3215 画10:00~18:00(入館は閉館30分前まで)  
 画「西小倉駅」徒歩5分、「小倉駅」徒歩10分 画「室町・リバーウォーク前」徒歩1分 画会期中無休 画有料

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
展示室	<b>再興第101回 院展</b> 日本美術院による同人作家の新作をはじめ、受賞作品、九州出身・在住作家の入選作品を展示 	4/7(金)~5/7(日)	一般 ¥1000 高大生 ¥600 小中生 ¥400 ※前売及び20名以上の団体料金 一般 ¥800 高大生 ¥400 小中生 ¥300	北九州市立美術館分館 093(562)3215
	<b>日本画ワークショップ作品展</b> 井手康人氏が八幡中央高校の1・2年生を対象に行ったワークショップでの成果作品を展示	4/7(金)~5/7(日)	無料	

**小倉北 北九州市立文学館**   所小倉北区内城4-1 画093(571)1505 画9:30~18:00(入館は閉館の30分前まで)  
 画「小倉駅」徒歩15分、「西小倉駅」徒歩10分 画「北九州市役所前」徒歩2分 画月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
常設展	明治以降における北九州文芸の歩みと、北九州にゆかりのある文学者を紹介 	開催中	一般 ¥200 中高生 ¥100 小学生 ¥50	北九州市立文学館 093(571)1505

**小倉北 北九州市立松本清張記念館**   所小倉北区内城2-3 画093(582)2761 画9:30~18:00(入館は閉館の30分前まで)  
 画「西小倉駅」徒歩5分 画「小倉城・松本清張記念館前」徒歩1分 画年末

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
企画展示室	<b>特別企画展 「清張が描いた日本の近代——豊穰なる小説群」</b> 	1/21(土)~5/7(日)		常設展示観覧料を含む 大人 ¥500 中高生 ¥300 小学生 ¥200	松本清張記念館 093(582)2761
	<b>松本清張原作ドラマ上映会</b> 「愛の断崖」「虚飾の花園」「棲息分布」より1日2作品を上映	12(金)~14(日) 19(金)~21(日)	① 10:30 ② 14:00	無料 ※常設展示観覧は別途入館料が必要	
屋外特設	<b>松本清張記念館 「第14回朗読劇「疑惑」</b>	27(土)	19:00	¥1000 ※要事前申込、抽選50名	松本清張記念館・ 松本清張記念館友の会 093(582)2761

**小倉北 小倉井筒屋**  所小倉北区船場町1-1 画093(522)3111(代) 画10:00~19:00※各最終日は16:00に閉場  
 画「小倉駅」徒歩7分 画不定休

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
新館7階大画廊	<b>美のプロムナード洋画展</b>	3(水)祝~9(火)	無料	小倉井筒屋 大画廊 093(522)2521
	<b>岡義実展</b>	10(水)~16(火)	無料	
新館7階小画廊	<b>平野遼 作品展</b>	3(水)祝~9(火)	無料	小倉井筒屋 小画廊 093(522)2521
	<b>山中三平 創作こけし展</b>	10(水)~16(火)	無料	
大画廊 新館7階小画廊	<b>初夏の掛軸秀作展</b>	17(水)~23(火)	無料	小倉井筒屋 大画廊・小画廊 093(522)2521
	<b>小川長楽 父子展</b>	24(水)~30(火)	無料	

**小倉北 小倉城**   所小倉北区内城2-1 画093(561)1210 画9:00~18:00(4月~10月)入館は閉館の30分前まで  
 画「小倉駅」徒歩15分、「西小倉駅」徒歩10分 画なし

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
香蘭館 香蘭館 香蘭館	<b>小倉城所蔵品展</b> 小倉城所蔵品(書・絵・甲冑)の中から約30点を展示 	開催中	一般 ¥350 中高生 ¥200 小学生 ¥100	小倉城 093(561)1210
	<b>おに愛展 in 小倉城</b> 人間の心の中にいる鬼をメッセージと共に描いています 	開催中~5/10(水)	一般 ¥350 中高生 ¥200 小学生 ¥100	

**小倉北 水環境館**  所小倉北区船場町1-2 画093(551)3011 画10:00~19:00  
 画「小倉駅」徒歩10分、「西小倉駅」徒歩10分 画「勝山橋」徒歩1分、「魚町」徒歩3分 画年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
多目的ホール	<b>水曜コンサート「歌とピアノの奏べ」</b> 歌:酒井 京子 ピアノ:湯田 美津子	3(水)祝	14:00	無料	水環境館 093(551)3011
	<b>水曜コンサート「バイオリンとピアノの奏べ」</b> バイオリン:加来 洋子 ピアノ:湯田 美津子	17(水)	14:00	無料	

**小倉南生涯学習センター**   所小倉南区若園5-1-5 画093(931)1286 画9:00~22:00 画「小倉南区役所」徒歩1分、「企救中学校前」徒歩2分 画「モノレール」北方駅 徒歩12分 画月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
本ホール	ジェリーズカーニバル キラキラアイドルダンスとパフォーマンス	13(土)	15:00	無料	ジェリーブーンズ 090(8355)8886【椎】
展示コーナー	小倉南美術協会洋画部会展	6(土)~ 14(日)	9:00~ 17:00	無料 ※6(土)は12:00から、14(日)は15:00まで	小倉南美術協会洋画部 090(8763)7753【山本】
	写真研究クラブ1期会 展示会	16(火)~ 21(日)	9:00~ 17:00	無料 ※16(火)は10:00から、21(日)は16:00まで	写真研究クラブ1期会 090(3325)9954【高橋】
	小倉南区水墨画会(南美術協会)	23(火)~ 30(火)	9:00~ 17:00	無料 ※23(火)は12:00から、30(火)は15:00まで	小倉南水墨画会(南美術協会) 093(471)5831【松本】

**若松市民会館**  所若松区本町3-13-1 画093(771)8131 画9:00~22:00 画「若松駅」徒歩1分 画「大橋通り」若松駅「若松市民会館前」徒歩2分 画年末年始 画110台(共用)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	若松少年少女合唱団 第42回定期演奏会 合唱発表会	7(日)	15:00	¥500	若松少年少女合唱団 松本妙子 093(761)1094
	中山民俗舞踊北九州支部 50周年記念 日本舞踊	21(日)	12:00	¥1000	中山民俗舞踊北九州支部 古川妙子 090(1515)5796

**北九州イノベーションギャラリー** (産業技術保存継承センター)   所八幡東区東田2-2-11 画093(663)5411 画平日9:00~19:00、土・日・祝日17:00まで(入館は閉館30分前まで) 画「スペースワールド駅」徒歩5分 画「いのちのたび博物館」徒歩3分 画月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始 画大型30台、普通300台(有料)

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
ギョウザホール	春企画展「~木・和・美の技~木創りの道具たち」展 木のものづくりで技を極める! 大工道具が300点以上展示。	4/15(土)~7/9(日)		大人 ¥300 小中学生 ¥100 ※小学生未満無料	北九州イノベーションギャラリー 093(663)5411
メインホール	「旧八幡市制100周年記念事業 写真展 八幡、百年の記憶」展 旧八幡市の発足から100年目を迎え、記念の写真展を開催します。	3/1(水)~5/28(日)		無料 ※対象:小学生以上	
4Fホール	「集(つど)いの建築、円(まど)いの空間」 レミングハウス主宰・中村好文氏(建築家)がものづくりへの想いを語る。	27(土)	14:00~ 15:30	無料 ※対象:中学生以上	

**北九州市立旧百三十銀行ギャラリー**   所八幡東区西本町1-20-2 画093(661)9130 画10:00~18:00 画「八幡駅」徒歩5分 画年末年始

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
	日曜写真クラブ第11回作品展 写真家 四宮次夫氏の作品と他15人のそれぞれの視点で写した作品を展示	4/29(土)祝~ 5/5(金)祝		無料 ※4/29(土)は13:00から、5/5(金)は13:00まで	090(2390)0610【西川】
	第31回アウン工房オマツリ展 —書と篆刻—	12(金)~14(日)		無料 ※14(日)は16:00まで	093(201)3137【宮脇】
	あじさい展 (生花) 主催 新生流双葉会	28(日)~29(月)		無料 ※29(月)は17:00まで	090(5723)5901【笠】

**北九州市立いのちのたび博物館** (自然史・歴史博物館)    所八幡東区東田2-4-1 画093(681)1011 画9:00~17:00(入館は閉館30分前まで) 画「スペースワールド駅」徒歩5分 画「いのちのたび博物館」徒歩1分 画年末年始、6月下旬(約1週間) 画大型30台、普通300台(有料)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
	春の特別展「ホントはすごい! どうぶつ展~飛ぶ! 走る! 泳ぐ! ~」 空中、地上、水中で卓越した能力を発揮する生物を紹介。大どじょう展も開催。	開催中~5/14(日)		大人 ¥500 高校生 ¥300 小中学生 ¥200 ※常設展は別途料金が必要 ※常設展とのセット券あり	いのちのたび博物館 093(681)1011
	企画展「旧八幡市制百年記念 鉄の都・街道のまち 八幡」 製鉄と石炭輸送を中心に発展した旧八幡市の歩みを地図や写真などでたどる。 	開催中~6/18(日)		要常設展入場料 大人 ¥500 高校生 ¥300 小中学生 ¥200	
	春の特別展関連イベント「タネのグライダーづくり」 植物(ハネフクベ)の種のグライダーを作ります。	7(日)	①14:00 ②15:00	要特別展入場料 ※小学生以下は保護者の参加が必要	
	春の特別展関連イベント「魚部員ドジョウ語り」 魚部員たちとドジョウトークを楽しもう!	3(水)祝~ 5(金)祝	14:00	要特別展入場料 ※小学生以下は保護者の参加が必要	
	たいけん講座「若武者に変身!」 端午の節句にちなんで甲冑の着用体験をします。 	5(金)祝	10:30 13:00 15:00	常設展のチケットが必要 ※対象:着のサイズに合う方(小学生以下は保護者の参加が必要) ※各10名、各30分前より整理券配布	
	歴史講演会「六郷満山の歴史と信仰」 講師:別府大学教授 飯沼 賢司氏	13(土)	13:30	資料代 ¥800 ※小学生以下は保護者の参加が必要	
	ジオハイキング「平尾台を楽しむスペシャル体験!」 ドローン映像や洞窟を活用して空中、地上、地下と平尾台を満喫します。	14(日)	13:00	大人 ¥1070 小学生 ¥870 ※対象:小学生以上 ※要事前申込(小学生は保護者の参加が必要)	
	野外観察会「バードウィーク市民探鳥会」 バードウィークにちなんで山野の初夏の野鳥を観察します。	14(日)	9:30	¥100 ※小学生以下は保護者の参加が必要 ※中学生以下無料	
	恐竜教室「アースモールの恐竜たち・その2」 アースモールの恐竜などを解説して回ります。	20(土)	14:00	無料 ※対象:小学生以上 ※要事前申込(小学生は保護者同伴)	
	室内講座「いのちのたび子ども教室(前期)」 博物館の特色を生かした体験活動などを行い、自然や文化について学習します。	5/27(土)~ 9/9(土)	13:30	保険代 ¥400 (全8回分) ※対象:小学4年生~中学3年生 ※要事前申込 ※おおむね2、4土曜日に開催	

**北九州市立西部勤労婦人センター**  所八幡東区尾倉2-6-6 画093(661)1122 画9:00~21:00、日曜日は17:00まで 画「八幡駅」徒歩10分 画「八幡駅入口第一・第二」、「市立八幡病院」徒歩5分 画月曜日、祝日、年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
体育室	開館40周年記念講演会 トークショー「夢を追い続けて…」 講師:体操クラブ指導者・選手 内村 周子氏 聞き手:藤重 知子氏	27(土)	13:00	無料 ※要事前申込	北九州市立西部勤労婦人センター (レディスやはた) 093(661)1122

八幡東 **北九州市立児童文化科学館** etc.

所八幡東区桃園3-1-5 ☎093(671)4566 時9:00~17:00(入館は閉館30分前まで)  
 ☪「市立児童文化科学館前」徒歩5分 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
大集会室	<b>第42回わくわくサイエンスキッズ2017</b> 身近な科学やものづくりの楽しさを体験	3(水)祝	10:00~15:00	無料	児童文化科学館 093(671)4566
	<b>木のおもちゃランド</b> 「あおむし工房」湯元桂二さんの手作り木のおもちゃを展示	4(木)祝	10:00~15:00	無料	
	<b>サイエンスショー</b> 「すごいぞ!水や大気の力」	5(金)祝	14:00~14:50	無料	
プラネタリウム観望後、月と木星など春の星空を望遠鏡で観察	6(土)	19:30~21:00	大人 ¥100 中学生 ¥70 小学生 ¥50 ※中学生以下は保護者同伴 ※先着100名、4/22土から電話受付開始		
プラネタリウム					

八幡西 **北九州市立子どもの館** etc.

所八幡西区黒崎3-15-3コムシティアF ☎093(642)5555 時10:00~19:00  
 ☪「黒崎駅」徒歩1分 ☪「黒崎バスセンター」徒歩1分 休5/10、24、25

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
ひろば	<b>ハリー☆とたまちゃん♪のおそびうた</b> 親子で楽しめる手遊び、ふれあい遊びイベント	7(日)	13:00 15:00	無料	北九州市立子どもの館 093(642)5555
	<b>おたのしみステージ</b> パネルシアターや紙芝居など読み聞かせイベント	28(日)	13:00 15:00	無料	

八幡西 **北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館** etc.

所八幡西区木屋瀬3-16-26 ☎093(619)1149 時9:00~17:30(入館は17:00まで)  
 ☪「筑前植木駅」徒歩15分 ☪「筑豊電鉄」[木屋瀬駅]徒歩5分 ☪九州自動車道「八幡IC」、北九州都市高速「馬場山ランプ」約10分  
 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
こやのせ座	<b>第16回 木屋瀬芸術祭</b> 3(水)祝:木屋瀬中学校吹奏楽部コンサート 5(金)祝:第14回筑前郷土芸能連絡会議 ほか	3(水)祝~5(金)祝	10:00	無料	長崎街道木屋瀬宿記念館 093(619)1149
	<b>こやのせ座 落語会</b>	4(木)祝	13:00	一般 ¥500 中学生以下 ¥200 ※小学生未満無料 ※当日一般 ¥300増、中学生以下 ¥100増	

八幡西 **黒崎井筒屋**

所八幡西区黒崎1-1-1 ☎093(643)5111(代) 時10:00~19:30※各最終日は17:00に閉館  
 ☪「黒崎駅」隣接 休不定休

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
6階ギャラリー	<b>バンラデシュの伝統刺繍展</b>	2(火)~7(日)	無料	黒崎井筒屋 ギャラリー 093(643)5268
	<b>山村織物 久留米絨展</b>	9(火)~14(日)	無料	
	<b>~夢とロマンを求めて~ 清水新也 油絵展</b>	16(火)~21(日)	無料	
	<b>ヨーロッパヴィンテージ ジュエリー &amp; テーブルウェア</b>	23(火)~28(日)	無料	

八幡西 **黒崎ひびしんホール** etc.

所八幡西区岸の浦2-1-1 ☎093(621)4566 時9:00~22:00  
 ☪「黒崎駅」徒歩10分 ☪(筑豊電鉄)「黒崎駅前」徒歩10分 ☪「熊手四ツ角」徒歩1分  
 ☪北九州都市高速「黒崎IC」5分 休年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	<b>コンフォート・ウィンドアンサンブル すぷりんぐコンサート</b>	3(水)祝	14:00	特別指定席 ¥1500 一般 ¥900 学生(高校生以下) ¥400 ※当日一般・学生 ¥100増	コンフォート・ウィンドアンサンブル 090(3410)3799【藤河】
	<b>第43回定期演奏会</b>	6(土)	18:00	¥1000	北九州アカデミー少年少女合唱団事務局 070(5488)1535【石井】
	<b>第8回マスターズコーラス北九州</b>	14(日)	13:00	無料	第8回マスターズコーラス北九州 093(612)1296【宮崎】
	<b>黒崎よさこい祭り in MTワールド</b>	21(日)	11:00	¥2500	MTワールド 090(2960)2582【うどう】
	<b>May J. Tour 2017 ~ ME, MYSELF &amp; OUR MUSIC ~</b>	27(土)	18:00	一般 ¥6480 友の会 ¥5980 ※対象:3歳以上	黒崎ひびしんホール 093(621)4566
	<b>平成29年度 第47回 北九州市ファミリー劇場</b> 一角笛シルエット劇場—「ごんぎつね」「つのはえのうた」 かわいい影絵に子どもは夢中!お話を観た後は元気いっぱい歌を歌おう♪	31(水)	10:30	大人 ¥1100 子ども(3歳~中学生) ¥900 親子 ¥1700 ※当日各 ¥300増 ※2歳以下観覧無料	北九州芸術劇場 093(562)2655
中ホール	<b>ピティナ ピアノ ステップ 八幡地区</b>	7(日)	10:30	無料	株式会社ミュージックリテイリング小倉店 093(531)4342【河嶋】
	<b>合唱の街・北九州 黒崎ひびしんうたごえホール</b> ~みんなで楽しく歌いましょう~	10(水)	13:00	¥500	黒崎ひびしんホール 093(621)4566
	<b>北九州子ども劇場5月低学年部例会</b> 「ねずみくんのチョコッキ」(人形劇団プーク)	11(木)~12(金)	18:30	会員制(¥1500/月)	北九州子ども劇場 093(884)3834
	<b>いけ花 池坊巡回講座</b>	14(日)	10:00	無料	池坊八幡支部 093(282)0214【秋山】
	<b>第24回新きたきゅう音楽塾 in 黒崎</b> 癒しの楽器ヴィオラを愉しむ 杉野貴恵子(ヴィオラ)・井口京子(ピアノ)	18(木)	13:00	¥500	黒崎ひびしんホール 093(621)4566

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
全展示室	第55回北九州芸術祭総合美術展 ほばしら墨友会・水墨画展 水墨画	1月~7日	9:30~17:30	無料 ※1月は13:00から、7日は16:00まで	ほばしら墨友会 0949(23)1610【田中】
	第55回北九州芸術祭総合美術展 北九州染織公募美術展 染織	9月~14日	9:30~17:30	無料 ※14日は17:00まで	北九州染織協会 093(631)8860【和田】
	第55回北九州芸術祭総合美術展 第38回彫刻展 彫刻	16日~21日	9:30~17:30	無料 ※21日は17:00まで	北九州彫刻協会 090(2580)8078【平春】
	第70回示現会 北九州展 洋画	5/30(火)~6/4(日)		¥700 ※6/4日は17:00まで	一般社団法人 示現会 福岡支部 090(3370)7524【膳夫】
展示室1	作勝会書画展示会 書・水墨画	23日~28日	9:00~18:30	無料 ※23日は12:00から、28日は16:00まで	作勝会 090(2097)1527【木本】
展示室2	和紙人形玉輝会作品展 和紙人形	24日~28日	10:00~18:00	無料 ※28日は17:00まで	和紙人形玉輝会 093(661)0710【中村】

## 戸畑 北九州市立美術館本館

所戸畑区西鞘ヶ谷町21-1 画093(882)7777 美術館口 徒歩10分 180台

■北九州市立美術館本館・アネックス市民ギャラリー休館のお知らせ

北九州市立美術館本館・アネックス市民ギャラリーは修繕工事のため休館しています。(次回企画展は平成29年11月を予定しています)

## 戸畑 戸畑市民会館(ウェルとばた内)



所戸畑区汐井町1-6 画093(871)7200 時9:00~22:00 戸畑駅 徒歩1分 戸畑駅 徒歩1分 休年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	北九州市三曲協会連合会 大演奏会	14日	12:00	無料	小倉南三曲協会事務局 093(961)3747【黒田】
	第6回 神田 紅 独演会 創作講談「アマテラスの娘~宗像三女神物語」 古典講談「お富と三郎」	20日	14:30	¥3500 ※当日¥500増 対象:小学生以上	NPO法人 金印倶楽部 092(737)5430【権藤】
	LE VELVETS CONCERT TOUR 2017 「Because of you」 ~ありがとうを届けに~	23日	18:00	¥5000	LE VELVETS Parti 03(6447)1440
	大正琴・文化箏振興会 森ん子の会 第17回定期演奏会 千曲川 北酒場 異邦人 コスモス 恋の季節 ソーラン節 ほか	27日	13:00	無料	大正琴・文化箏振興会 森ん子の会 093(642)9054【中山】
	渡辺知子一座コンサート 熊本・南阿蘇復興支援チャリティ 生命が光る/決して決して決してあきらめない	28日	16:00	¥2500 ※当日¥500増	渡辺知子音もだちクラブ 090(1977)8882【橋本】
	平成29年度 第47回 北九州市ファミリー劇場 一角笛シルエット劇場 「ごんぎつね」「つのがえのうた」 かわいい影絵に子どもは夢中! お話を観た後は元気いっぱい歌を歌おう♪	29日	10:30	大人 ¥1100 子ども(3歳~中学生) ¥900 親子 ¥1700 ※当日各¥300増 ※2歳以下路上観覧無料	北九州芸術劇場 093(562)2655
中ホール	ムジーク・エスポアール ジュニアピアノコンサート 幼児からプロのピアニストによるピアノソロとピアノ連弾の演奏があります	3日	13:00	無料	ムジーク・エスポアール 093(691)9568【田村】
	第18回 コンチェルト・リリコ福岡県支部演奏会 中田喜直の作品&オペラアリアと永遠のカンツォーネ	4日	14:00	¥1000	コンチェルト・リリコ福岡県支部 090(8412)3814【清永】
	緒方ピアノ教室発表会 第1部 ピアノソロ 第2部 アンサンブル(連弾・歌・バイオリン ほか)	5日	13:45	無料	緒方ピアノ教室 093(601)2396【緒方】
	THE CONCERT OF LITTLE PIANISTS	6日	お問い合わせください	無料	うめざきあきピアノ教室 093(962)2135【梅崎】
	石井のり子と仲間たちのピアノ&ハンドベルコンサート 5歳から大人まで、留学生も参加。歌とバイオリンもあり楽しいコンサート。	7日	14:00	無料	石井ピアノ&ハンドベル教室 093(962)1736【石井】
	吉田歌謡教室 カラオケ発表会	14日	9:15	無料	吉田歌謡教室 090(2397)1152【吉田】
	ジョイント コンサート	19日	19:00	¥2000	アウレンテ プラートの会 090(3609)5081【大石】
	きょうはソプラノ日和~あこがれを胸に~ 田浦彩夏と鈴木貴子のソプラノジョイントコンサート第2弾	20日	14:00	一般 ¥2000 学生(小学生以上) ¥1500 ※親子観覧室あり	月歌倶楽部 050(5277)2431
	くにたちコンサート2017	21日	14:30	大人 ¥1500 高校生以下 ¥500	国立音楽大学福岡県同窓会 北九州支部 093(691)1468【相良】
	交流 プリザ ウェルカムコンサート 出演/渡辺知子一座	11日	12:20	無料	ウェルとばた総合案内 093(871)7200

「CulCul・かるかる」をホームページとアプリでチェック!

北九州市文化芸術メディアサイト  
CulCul・かるかる  
http://www.kitakyushu-culcul.jp



### CulCulの主な設置場所

各区役所・出張所、市内JR駅、市民会館、市民センター、生涯学習センター、図書館、北九州空港、男女共同参画センター・ムーブ、井筒屋、モノレール駅、レインボープラザ、北九州芸術劇場プレイガイド・インフォメーション、響ホールなど

ジャンルごとに色分けして表記しています



美術・展示

映像・その他催し

※4月12日現在の情報です

※催しは内容など変更になる場合がございます

障 障害者手帳減免があります



2017年  
5月号表紙  
「心熱くする光を目指し。」

### 北九州市芸術文化情報誌「CulCul・かるかる」

■発行日/2017.5.1 ■発行/北九州市

■編集・制作/(公財)北九州市芸術文化振興財団 出版事業課 〒803-0812 北九州市小倉北区室町1-1-11-5F

TEL:093(562)3027 FAX:093(562)3029 E-mail:culcul@kicpac.jp 北九州市印刷物登録番号 第1609001A号

## 情報コーナー

### ■開館5周年シリーズⅡ

「本と音楽の素敵な出会い」

「本とわたしとジャズな午後」

6月3日(土) 午後2時30分開場、同3時開演。黒崎ひびしんホール大ホール(八幡西区岸の浦)。トークとコンサートを交えた全4部構成。出演は作家の江國香織、ピアノ園田涼、司会と進行に浦久俊彦。プログラムは、「江國香織が語る」本と音楽のある生活、「江國と園田がセレクトする」ほっと心に届く音楽たち、「音楽を愛する人たちの対話」「プレゼントステージ」。全席指定。入場料、一般3500円、友の会3000円、

ペア券(2枚) 6000円、高校生以下2500円。

黒崎ひびしんホール  
093(621) 4566



『本とわたしとジャズな午後』チラシ

### ■響シリーズ第2弾

小川典子ピアノ・リサイタル

6月17日(土) 午後2時開場、同3時開演。日本とイギリスを中心に世界で活躍するピアニスト小川典子が響ホールに登場。予定曲は、モーツァルト「ピアノ・ソナタ第11番イ長調」「トル

コ行進曲つき」「ドビュッシー「垂麻色の髪の少女」。「月の光」ほか。コンサート前日に、演奏者が聴きどころなどを解説するアナリーゼワークショップ(無料・要事前申し込み)も開催。全席指定。入場料、一般3000円、25歳以下2000円(当日前売り共同料金)。未就学児入場不可。  
響ホール音楽事業課  
093(663) 6661



『小川典子ピアノ・リサイタル』チラシ

永野栄子

いろはに  
ぴあの



1年ぶりに浜松国際ピアノアカデミーを聴講してきました。今年が21回目。しかし、中村絃子さんのご逝去で、これが最終回になるそうです。国際的な、最先端の講師陣によるレッスンを、充実した環境において日本で受けられる貴重なチャンスだったので、本当に残念です。

今回はロシア人二人のレッス

### 早期音楽留学の壁

能性のある子どもは、早い時期に海外に出て学ばなければダメだ」と強く思いました。しかし、これには高い高い壁があります。九州の一般家庭では、音楽教育のために義務教育途中で子どもを留学させる決心をするのは、

きつと不安が多いと思うのです。安全面、経済面、将来のこと…。スポーツ界では海外遠征・合宿など当たり前に行われているのに、音楽の世界ではなかなか広がりを見せません。意欲的に学ぼうとする子どもたちへの、も

つと安定した後押しが必要ですが、中村絃子さんの後を引き継いでくださるような大きな方はいつか現れるのでしょうか。亡くなられて今、その存在の大きさをひしひしと感じています。



## 999号の車掌さん出現! JR小倉駅周辺に新スポット続々誕生

JR小倉駅新幹線口を出ると、正面に3体の銅像が見えてきます。これは、北九州市漫画ミュージアムオープン時に設置されたもので、当館名誉館長の松本零士の作品から、鉄郎とメーテル、キャプテンハーロックが私たちを出迎えてくれます。さてこの春、この銅像たちに加えて、小倉駅周辺に続々と楽しいスポットが誕生! まずは、漫画ミュージアムの真下、小倉駅の高架下を南北につながる自由通路に、漫画の技法を取り入れた壁画アートが登場しました(写真1)。壁の前に立つてポーズをとると、まるで漫画の中に入ったような写真が撮れますので、あなたも登場人物として、自由通路オリジナル雑誌「週刊すきっちゃん」に出演してみてくださいね。

続いて4月には、『銀河鉄道999』の車内をイメージしたベンチが小倉駅新幹線改札の正面に誕生! 中心には、おなじみ999号の車掌さんがキリッと敬礼をしています。ほぼ等身大サイズを再現したこだわりのフィギュアは、「このサイズでは、日本一かわいい車掌さんになったかも!」と関係者一同、自画自賛。ぜひ、隣に立つたり、ベンチに座ってポーズをとったりと、フォトスポットとしてもご利用いただければと思います。「北九州を漫画で盛り上げる」開館以来、漫画ミュージアムが心がけている精神です。待ち合わせの定番や、賑わいの中心になればと願うばかりです。



写真1 8場面ある壁画の前で自由に写真を撮ってみよう



写真2 歩行者を出迎えるキャプテンハーロックの雄姿

北九州市漫画ミュージアム  
お問合せ 093(512)5077  
開館時間 午前11時~午後7時(入館は午後6時30分まで)  
休館日 火曜日(5月2日は開館)

# 埋蔵文化財 hiroba

## 遺跡からのメッセージ

(公財)北九州市芸術文化振興財団  
埋蔵文化財調査室 調査係長

中村 利至久 Toshihisa Nakamura

## たかしま 高島式土器の行方 ～北九州市域の弥生時代終末期の 土器を考える～

皆さんは「高島式土器」という名前をご存じでしょうか。これは、1972（昭和47）年に発掘調査が行われた、小倉南区下貫2丁目（旧大字貫字高島）に所在する高島遺跡にちなんで付けられた土器群の名前です。土器の形や種類は時代とともに変化していきます。また、この変化には地域ごとに特徴があることが分かっています。考古学ではこの変化や地域性を調べ、その土器がいつの時代のどの地域に属するものかを検討します。高島遺跡を発掘した研究者たちも、出土した土器群の検討を行いました。その結果、これらの土器群がそれまで未確定であった東北九州の弥生時代終末期を代表するものと判断したのです。そして、この新たな土器群の名称を、「高島式」と命名しました。ち

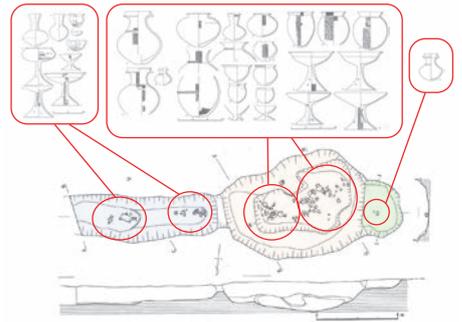


図1 高島遺跡の祭祀土坑（土坑、遺物ともにいくつかのグループに分かれているようにみえる）

なみに、このように良好な資料群が出土し、土器の名前になるような遺跡を「標識遺跡」と呼びます。ともあれ、この認定以降、北九州市域では遺跡から高島式土器と同じ形態の土器が出土した場合、その遺跡を弥生時代終末期の遺跡として取り扱ってきました。ところで、高島遺跡出土の高島式土器は、祭祀行為のために掘られた穴（土坑）の底から一括投棄もしくは据え置かれたような状態で見つかりましたが、その土坑の形状は一回で掘られたと考えるには不自然な形をしています。このため、調査当初から複数回の掘り替えがあった可能性が指摘されてきました。その形は図1に色分けして示したように、少なくとも三つの土坑が重なり合っているように見えます。また、土器群もこれに対応するようにいくつかのまとまりになっていて、複数回の祭祀行為の結果、このような状態になったのではないかと指摘もなされています。

その場合、問題になるのはその時間的な間隔です。それが「弥生時代終末期」という時間幅に収まらないほど長いものであったなら、高島式土器とこれを基準に組み立てられてきたこの時期の遺跡の評価は変わって

くることとなります。そしてそれは、そのまま北九州市域における歴史的環境の評価にも影響を与えます。弥生時代終末期はその名の通り古墳時代へと移行変わっていく重要な時期ですから、その影響は大きなものとなるかもしれません。高島式土器は果たして弥生時代終末期単一時期の土器なのか。当調査室の前室長である前田義人は自身の研究の中で、この土器群が単一時期のものではないとの指摘を行っています。

筆者も、最近になってこの問題について考える機会を得ました。発掘調査から45年を経た現在、当時とは比較にならないほど発掘調査事例は増え、新たな発見や研究成果が蓄積されています。その視点で改めて高島遺跡出土の土器群を眺めてみると、あくまでも予察の段階ですが、少なくとも三時期にわたる土器群のように見えます。「高島式土器」の正体やいかに。今年はこの問題について少し腰を据えて考えてみたいと思っています。

筆者も、最近になってこの問題について考える機会を得ました。発掘調査から45年を経た現在、当時とは比較にならないほど発掘調査事例は増え、新たな発見や研究成果が蓄積されています。その視点で改めて高島遺跡出土の土器群を眺めてみると、あくまでも予察の段階ですが、少なくとも三時期にわたる土器群のように見えます。「高島式土器」の正体やいかに。今年はこの問題について少し腰を据えて考えてみたいと思っています。

筆者も、最近になってこの問題について考える機会を得ました。発掘調査から45年を経た現在、当時とは比較にならないほど発掘調査事例は増え、新たな発見や研究成果が蓄積されています。その視点で改めて高島遺跡出土の土器群を眺めてみると、あくまでも予察の段階ですが、少なくとも三時期にわたる土器群のように見えます。「高島式土器」の正体やいかに。今年はこの問題について少し腰を据えて考えてみたいと思っています。

### 〈埋蔵文化財の展示案内〉

- ・北九州市立埋蔵文化財センター（小倉北区金田1の1の3 093(582)0941）
- ・北九州市を掘る(86) 埋蔵文化財速報展『紫川中流域の弥生ムラー上徳力遺跡第27地点一』弥生時代の土器や石器、お祭りに使うミニチュア土器など約65点を展示常設展もあり
- 【入館料】無料 【開催期間】8月20日(日)まで
- 【開館時間】午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- ※毎週月曜日(休日の場合はその翌日)、年末年始は休館
- ・黒崎歴史ふれあい館（八幡西区黒崎3の15の3黒崎駅横コムシティ1F）
- 常設展開催中/『城下町から宿場町へ～出土品が語る黒崎の歴史と文化～』
- 『シュガーロード・発掘物語』
- 【入館料】無料 【開館時間】午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ※年中無休



図2 弥生時代終末期の土器群の一例（埋蔵文化財センター展示遺物）



写真1  
門司出身のマンガ家・関谷ひさしの  
作画機や道具を実物展示

# 漫画 hiroba

漫画と北九州

北九州市漫画ミュージアム 専門研究員

表 智之 Tomoyuki Omote

## 身近な存在の意外な秘密！ 漫画ミュージアム常設展示

今年の8月で北九州市漫画ミュージアムは開館5周年を迎えます。年間約10万人の来館者があり、その約半分が市外から、さらにその半分、つまり全体の約4分の1が福岡県外からのお客さまです。人気の高い企画展の際などは、九州各県や山口・広島、さらに関西からと、遠方から足を運んでくださる方も少なくありません。

北九州市内のみならず、市外・県外でも知っていただけつつある今日この頃ですが、広報や報道でスポットが当たるのはもっぱら企画展です。そこで今回は、詳しくお伝えする機会がありません「常設展示」、中でも、マンガについての基本的な解説展示についてご紹介しましょう。解説展示では、より多くの方に関心を持っていただけるよう、マンガ文化の根幹に迫ることを目指しました。二つの問いに集約してみました。「マンガはどうやってできているのか？」、そして「なぜ北九州市からたくさんマンガ家が生まれたのか？」です。

一つ目の問いには、執筆工程・産業構造・表現構造の三つの



写真2 登場人物の感情を描き分けるテクニックを解説

側面から答えました。マンガ家はどんな道具を使い（写真1）、どんな手順で執筆しているのか。作家が描いた原稿が雑誌や本になるにはどんな企業が関わり、お金はどう流れているのか。そして、分かりやすく臨場感のあるマンガを描くために、作家はどんなテクニックを駆使しているのか。

例えば写真2は、登場人物の感情の動きをマンガ家はどうか描き分けているのかを解説したコーナーです。ハの字形の眉毛は困惑、への字形の口は怒りといった記号的な決まりごとを基礎に置きつつ、日本マンガの特徴である大きな瞳を、輝かせたり

黒く塗りつぶしたり細かな線で構成したりして、喜怒哀楽や感情の強弱を作家は描き分けているのです。

二つ目の問いへの答えとしては、当館の名誉館長でもある松本零士の生い立ちと業績を詳しく紹介しました。たくさんのお店や映画館がひしめき、文化的刺激にあふれた街だったこと。毎日新聞や朝日新聞など新聞社の西部本社でマンガ家としての腕を磨き、大いに学んだこと。北九州の街から受けたさまざまな薫陶を、当館のための撮り下ろしインタビュー映像で、ご本人が情熱的に語ってくれています（写真3）。市外からの来館者にとつては、北九州の歴史と風土に、通常の博物館とは違った視点から触れていただく機会ともなるでしょう。そしてもし

かしたら、地元の方にとつても、



写真3 松本零士名誉館長のインタビューや、北九州市の歴史を鉄郎とメーテルがたどるアニメ作品を上映

この街を見つめ直す機会になるかも知れません。

日本においてマンガは、社会の隅々にまで浸透し、とても身近な存在です。しかし、何気なく習慣的にマンガに接しているからこそ、その成り立ちについて改めて考える機会は少ないと言えます。ごく身近な存在の奥底にある複雑な構造に触れることは、誰にとつても新鮮な驚きであり、知的な喜びです。マンガについて、そして、北九州市という街について、新たな発見を楽しんでいただければ幸いです。

※ 徳を以て人を感化し、すぐれた人間をつくること

### Information



【開館時間】午前11時～午後7時(入館は午後6時30分まで)  
【休館日】火曜日(5月2日は開館)  
【常設展観覧料】※( )内は団体料金  
一般400(320)円 中高生200(160)円 小学生100(80)円  
※小学生未満無料  
【お問合せ】北九州市漫画ミュージアム 093(512)5077

シン・えびすリアリズム～蛭子さんの展覧会～  
企画展示室(あるあるCity5F)にて5月21日(日)まで開催中  
[http://www.ktqmm.jp/kikaku\\_info/8666](http://www.ktqmm.jp/kikaku_info/8666)  
5月5日(金・祝)「蛭子さんの似顔絵サイン会」開催

# 美術 hiroba

美術館へ行こう！

北九州市立美術館 学芸員

重松知美 Tomomi Shigematsu

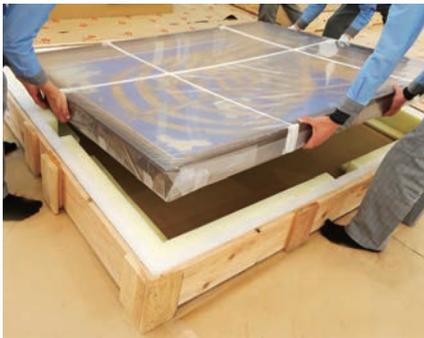


写真1 箱から保護シートに包まれた作品を取り出す



写真2 ガラスカバーのない作品は、ひもをかけて画面を保護する



写真3 学芸員による作品点検作業



写真4 作品を展示する様子。作品は当館の代表作、ドガ《マネとマネ夫人像》



写真5 ライティングの様子

美術館の所蔵作品を他の美術館で展示するには、まず作品を所蔵する美術館と作品を借りる必要があります。

現在、改修工事のため長期休館中の北九州市立美術館本館と、福岡市美術館。偶然にも同時期に休館に入った2館のコレクションが西日本の6会場を巡回する展覧会「夢の美術館めぐりあう名画たち」展が開かれています。

本誌2月号では同展の概要についてご紹介しました。今号は、同展の展示作業から、展覧会の舞台裏についてお話ししたいと思います。

美術館（展覧会を開く美術館）との間で手続きを行います。そして作品を安全に梱包し、輸送し、開梱し、展示作業を行います。学芸員の指示のもと、専門の知識と技術を持つ美術品取り扱い業者が作業を行います。それでは、作業の様子を見てください。油彩画の場合、1点ずつ作品に合わせた専用の梱包箱が作られます。写真1の箱は3重構造になっていて、その作品が隙間なくぴったりと収まります。衝撃による絵や額縁の破損や、温度、湿度の急激な変化など、輸送時にダメージを与

展覧会の裏側では、  
こんなことをしています  
夢の美術館めぐりあう名画たち展から

えないための工夫が施されています。写真2は、作品を箱から取り出し、包みを開いたところ。この作品の額縁にはガラスのカバーがないので、シートや梱包箱の面が絵の表面に当たってしまう危険があります。そこで、額縁にひもをかけて接触しないように工夫しています。次に、学芸員による作品点検を行います（写真3）。絵の具層に新しいひびや剥落がないか、額縁が欠けていないかなど、隅々まで確認します。点検を終えた作品は、展示レイアウトに沿って展示し（写真4）、展示作業が終わると、照明を当てていきます（写真5）。照明は見やすくするための演出をする効果もあり、会場の雰囲気も左右する大切な作業です。このようにして出来上がった展覧会「夢の美術館」展。当館

の常設展でおなじみの作品たちが、現在は熊本県立美術館の展示室で、また違った魅力を見せてられています。今回は展覧会の舞台裏をご紹介します。裏話を思い出しながら鑑賞いただければ、いつもと一味違う鑑賞が楽しみたいだけかもしれませんよ。

## Event

〈巡回スケジュール〉

福岡市美術館・北九州市立美術館名品コレクション  
夢の美術館めぐりあう名画たち展

熊本県立美術館  
2017年4月11日(火)～5月28日(日)

久留米市美術館  
2017年6月3日(土)～7月16日(日)

宮崎県立美術館  
2017年7月22日(土)～9月3日(日)

島根県立美術館  
2017年9月12日(火)～10月23日(月)

※詳しくは各会場のホームページでご確認ください



前列左から川上委員、なかにしさん、工藤さん、角田委員、井上委員

# 文芸 hiroba

ようこそ文学館へ  
北九州市立文学館

## 第3回林芙美子文学賞

北九州ゆかりの作家・林芙美子にちなみ、本市の文学的土壌を全国に発信するとともに、新たな文学の才能を発掘するという目的で平成26年度に林芙美子文学賞を創設しました。

今回は、国内外より、628編の応募がありました。前回、前々回に引き続き全都道府県からの応募があり、最も応募作品数が多かったのは福岡県の108編（内、北九州市44編）、以下、東京都84編、神奈川県62編、大阪府40編、埼玉県・千葉県34編でした。

応募者の中には、他の文学賞の受賞者や最終候補に残った方々もおり、この文学賞の名前が、作家を目指している方に浸透しつつあることを示しています。



表彰式での選評

3次にわたる事前選考を経た後、1月27日に東京都内で、選考委員の井上荒野さん、角田光代さん、川上未映子さんによる最終選考会が開かれました。

選考会では大変熱心な議論が行われ、最終候補作品5編から、工藤千尋さんの「とげね、かちやくちゃん」が大賞に、なかにしさとみさんの「深く、」が佳作に選ばれました。

表彰式は、2月26日、リーガロイヤルホテル小倉で行われ、北橋健治市長より、受賞されたお二人に賞状、表彰楯、副賞目録などが贈られました。

大賞受賞の工藤さんは、「その年齢、その時代でしか残せない物語があつて、大急ぎでそれを回収しないと消えてしまうと感じています。今後も、悩みながら、身の丈に合った作品を作り続けていこうと考えています。作品発表の機会を設けてくださった全ての皆さまに感謝申し上げます」と、喜びと抱負を語っていました。

題名は、東北地方の方言で、「とげね」は「さみしい」、「かちやくちゃん」は「もどかしい」という意味です。東京から帰郷した女性と、故郷で出会った青年、伯母、姪などの関

係が、詩的に、また視覚的に描かれています。

佳作を受賞した「深く、」は、主人公がひたすら穴を掘り進みやがて深い穴の底で、掘り続けてきた理由と出合うというストーリーです。

なかにしさんは、その執筆を「自分の肉体を取り戻す修行のようなもの」と表し、「北九州という街に出合う機会を与えられたことを感謝しており、私にとつてとても大きくうれしいことです」と喜びを語りました。

表彰式で行われた、選考委員による選評では、最終候補作品の印象や受賞作を選んだ決め手、また、お三方の小説観や今後、この文学賞でどんな作品が読みたいかというところまで話が及び、30分という短い時間ながら、大変密度の高いトークとなりました。

大賞を受賞した「とげね、かちやくちゃん」については、井上委員は「冬の情景がずっと印象に残っていて、それがこの小説のテーマにうまくはまっていた」、角田委員は「世界観がものすごくはっきりしていて、色彩や景色が、しっかり立ち上がってくるような魅力を持っている」と評しました。

また、川上委員は、大賞・佳作の2作品について、「何かを掘り当てたときにもものすごくポ

テンションを発揮するんじゃないかという可能性を感じさせるものがあつた」と語り、3人の選考委員全員が、「ぜひ、次の作品を読んでみたい」と、受賞したお二人の将来性を高く評価していました。

今回の受賞を、今後の創作の糧にして、さらに素晴らしい作品を世に送ることを期待しています。

表彰式後は、選考委員の井上荒野さんによる記念講演が行われました。「小説トリッパー」で現在連載中の新作「あちらにいる鬼」のモデルとなっている、井上さんの父で小説家の井上光晴さんと母、そして瀬戸内寂聴さんとの関係を中心に、初めて明かす事実なども話され、約300人の来場者は熱心に耳を傾けていました。

受賞作品は、3月17日発売の「小説トリッパー春季号」に掲載されました。

### Information

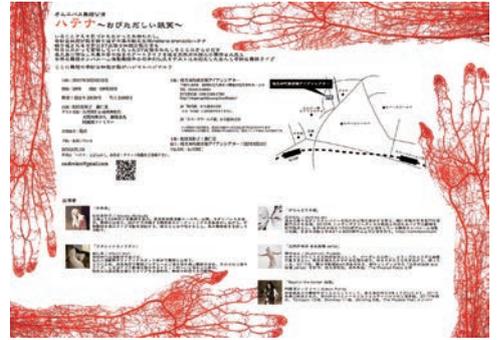
北九州市立文学館  
北九州市小倉北区内4の1

【開館時間】  
午前9時30分～午後6時  
(入館は午後5時30分まで)

【休館日】月曜日(月曜日祝日の場合は翌日)

【観覧料】  
一般200円 中高生100円 小学生50円  
(年間パスポート)  
一般400円 中高生200円 小学生100円  
【お問合せ】093(571)1505





## 「あなたの芸術は、生き物としての体の外にあります」

マーサ・グレアムという舞踏家をご存じだろうか。1930年代から、亡くなる91年ぎりぎりまでアメリカで活躍し「モダンダンスの開拓者」ともいわれた彼女は、自伝の中でこんなことを述べている。

「体はダンスにおいてあなた

の楽器ですが、あなたの芸術は、生き物としての体の外にあります」

「あなたがうまく踊れるかどうかなんて誰も気にかけません。ただ立ち上がって踊りなさい。偉大なダンサーはそのテクニックが偉大なわけではありません。彼らはその情熱ゆえにすばらしいのです」

しばしば、人はテクニクに支配され、それを磨く行為の奴隷となってしまう。しかし、少しでも芸術表現に触れたことがある人なら、優れたテクニクだけでは、観る者の心を動かす表現には至れないということ（ほんやりとながらも）感じた経験があるのではないだろうか。観客が本当に影響を受けるのは、おそらく、人の「熱」だ。

そんなことをふと考えさせて



『Dance Camp Platform in Japan 2017』チラシ



『Mr. Nobody's』チラシ

このプロジェクトは三つのプログラムから成っている。

一つは、「クリエーション」。韓国の一線で活躍するダンサーやボディコンディショニングトレーナーを招き、彼らと参加者が、劇場の2階の宿泊スペースに寝泊まりし、生活を共にしながら1週間を過ごして、作品を創っていくというもの。今回創られた作品は2本。

- ▷ 『Blue Sneakers』 振付：On&Off Dance Company
- ▷ 『Logic of Black and White/白黒の論理』 振付：\*デヴィエイト・コレム・デザイン・ムーブメント Designare Movement
- もう一つは単発の「ワークショップ」だ。1週間がっつりは参加できないけれども、何か新しい発見がほしいという人にはうれしい企画。『Combination Movementの探究』や『Soft Dance and Movement (柔らかなダンスと動き)』など、じっくりダンスと向き合えるプログラムが4本実施された。
- そして、「クリエーション」で作られた作品の発表が3月11日、「枝光商店街アイアンシアター」で行われた。こうしてみるとなんと濃い、贅沢なプログラムである。宿泊施設を持つ小さな劇場の強みを存分に生かした企画だと思う。

アイアンシアターでは、この後も、魅力的なダンス企画が続く。DEVIAITE.COが企画・制作し、「山海塾」の石井則仁や、天然肉体詩人 藤條虫丸を迎えた作品『ハテナ～おびたさい妖笑～』（3月26日）。同じくDEVIAITE.COと石井則仁がタッグを組んだ『Mr. Nobody's』（4月1日・2日）。そして、5月20日・21日には「太めパフォーマンス」による『浮き上がらないあぶく』。

「コンテンツポラリダンス」というと、「難しい」とか「分からない」とかいうイメージが強いかもしれないが、冒頭に書いたマーサ・グレアムの言葉のように、踊り手の「情熱」を感じればよい、と考えればぐっと身近になる。北九州芸術劇場のオープン時のセレモニーで、野村萬斎が舞う「三番叟」を観たとき、天下泰平、五穀豊穡を祝うめでたい舞が、とても「コンテンツポラリ」なものに感じられたことを思い出す。それもやはり踊り手の「熱」であったか。

※ デザインの語源といわれているラテン語

# Cul 特集Cul 49

## 北九州芸術劇場



ヤノベケンジ《GRAND SEED NEW "ORGA"》  
1993年(1994年改変)  
鉄、モーター、エンジンほか 北九州市立美術館蔵

今年で5回目を迎える北九州芸術劇場×北九州市立美術館分館のコラボレーション公演。この公演は、リバーウォーク北九州内にある北九州芸術劇場と北九州市立美術館分館が協働し、リバーウォーク北九州10周年記念として始めました。これまでに、『切り裂かれたキャンバス』はエドガー・ドガ《マネとマネ夫人像》をモチーフとし、『モテたい売れたい僕らアーティスト』はジャン・ミシェル・バスキア《消防士》、『画狂老人@北斎』は葛飾北斎《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》、『モネ、逆さまの睡蓮』ではクロード・モネ《睡蓮、柳の反影》をモチーフとした作品を上演しましたが、毎年チケットが完売す



コラボ企画第3弾『画狂老人@北斎』公演写真

るほどの人気ぶりです、ご好評をいただいています。  
4回目の公演までは絵画作品を扱ってきましたが、5回目の今回は立体造形物をモチーフにします。しかも現存作家の作品。扱うのは現代美術作家ヤノベケンジの《GRAND SEED NEW "ORGA"》という、約3メートルにも及ぶ巨大なオブジェです。前回までの公演では、演劇の上演後に別室に展示されていた絵画を鑑賞していただいていたのですが、今回はなんと、このオブジェを舞台美術として使用します。ORGAはヤノベケンジの初期作品『征服兵器』シリーズの一つであり、快楽を享受しながら大地と共鳴するための装置。これが果たして劇中でどのように使われるのか、ご期待ください。



コラボ企画第4弾『モネ、逆さまの睡蓮』公演写真

また、シリーズ初、3人の作家によるオムニバス形式での公演も今回のもう一つの特徴です。北九州を拠点に活動する2劇団、「ブルーエゴナク」の穴迫信一さんと「バカボン座」の渡辺明男さんに依頼し、ORGAからイメージされる短編作品を書いていただきました。また、短編の執筆に加え、全体の構成と演出を行うのは、この企画に第1回目から携わっている「飛ぶ劇場」の泊篤志さん。ヤノベケンジさんのテーマやORGAの背景を彷彿とさせる三者三様の物語が生まれました。

2013年から5年間、演劇と美術のコラボレーションの形を模索しながら作品を創作してきましたが、この企画も今年で一区切りとなります。美術館の中で演劇と美術作品鑑賞が楽しめるということ、演劇ファンにも美術ファンにも親しみを持っていただけたのではないのでしょうか。劇場・美術館の企画担当者も最初はまずお互いの「常識」を知るところから始まり、今では美術館スタッフが演劇用語を使いこなしていたり、劇場スタッフが美術用語に詳しくなっていたりします。コラボレーションというのはただの足し算ではなく、お互いのことを知り、良いところを掛け合わせて、足りないところは補い合って進めていくものだと感じました。今回5年目にしてようやくできる、コラボレーションの新たな到達点をお見せできると思います。ぜひご覧ください。美術館でORGAと共にお待ちしています。

### Information

北九州芸術劇場×北九州市立美術館分館 vol.5  
10万年の寝言

【日時】  
6月8日(木)午後7時  
9日(金)午後2時/午後7時  
10日(土)・11日(日)午後1時/午後4時  
※各公演終了後、学芸員による解説あり

【会場】北九州市立美術館分館  
【料金】一般1200円(当日1500円)  
※未就学児入場不可  
【お問合せ】北九州芸術劇場 093(562)2655

# かるかる CulCul

Culture&Cultivate

2017  
May

5

Vol.49

心熱くする光を目指し。

## 特集

北九州芸術劇場

演劇 | 演劇の街は、いま

文芸 | ようこそ文学館へ

美術 | 美術館へ行こう!

漫画 | 漫画と北九州

埋蔵文化財 | 遺跡からのメッセージ

音楽 | いろはにぴあの

CulCul かるかるニュース

999号の車掌さん出現!

JR小倉駅周辺に新スポット続々誕生

Culture&Cultivateかるかるは文化を意味する英語Cultureと芸術に親しむことを意味するCultivateの造語です。  
題字に使用しているロゴは北九州生まれの欧文フォントCCArtSans(CCAアートサンズ)を使用しています。